

令和4年5月吉日

各肢体不自由特別支援学校 P T A会長 様
各肢体不自由特別支援学校 校長 様

全国肢体不自由特別支援学校 P T A連合会
会長 空岡和代
(東京都立村山特別支援学校 P T A会長)
全国特別支援学校肢体不自由教育校長会
会長 諏訪肇
(東京都立青島特別支援学校統括校長)
第65回全肢P連「北海道大会」実行委員会
委員長 加藤美津紀
(北海道手稲養護学校 P T A会長)
副委員長 鎌田典子
(北海道手稲養護学校校長)

令和4年度
第65回全国肢体不自由特別支援学校 P T A連合会
P T A・校長会合同研究大会
「北海道大会」
【第二次案内】

薫風の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、令和4年度第65回全国肢体不自由特別支援学校 P T A連合会及び P T A・校長会合同研究大会「北海道大会」を別紙のとおり開催いたしますので、多数御参加くださいますよう御案内申し上げます。

なお、参加申し込みにつきましては、各学校での参加者をおまとめくださいますようお願い申し上げます。

令和4年度
第65回全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会
PTA・校長会合同研究大会〈北海道大会〉

〈研究主題〉

肢体不自由のある子どもたち一人一人の生きる力を育むために
PTA活動はどうあるべきか。
～過去からつながる 明日へひろげる 北海道から目指す未来のカタチ～

1 趣旨

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会は、特別支援教育の諸課題等の解決に向け実践研究を進めるとともに、だれもが自分らしく生きる社会づくりに向けたPTA活動を推進するため、全国特別支援学校肢体不自由教育校長会と合同の研究大会を開催する。

2 主催

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会
全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

3 後援（予定含む）

文部科学省	厚生労働省		
国立特別支援教育総合研究所	全国特別教育支援推進連盟		
全国心身障害児福祉財団	日本肢体不自由児協会		
日本肢体不自由児教育研究会	全国肢体不自由児・者父母の会連合会		
北海道教育委員会	青森県教育委員会	岩手県教育委員会	秋田県教育委員会
山形県教育委員会	福島県教育委員会	宮城県教育委員会	札幌市教育委員会
北海道特別支援教育関係PTA連絡協議会	北海道肢体不自由養護学校PTA連合会		
北海道特別支援学校校長会			
北海道重症心身障害児（者）を守る会	札幌地区重症心身障害児（者）を守る会		
NPO法人札幌肢体不自由児者父母の会	公益財団法人北海道肢体不自由児者福祉連合協会		

4 主管

北海道・東北地区肢体不自由特別支援学校PTA連合会
北海道・東北地区特別支援学校肢体不自由教育校長会

5 実行委員会

（総括事務局）北海道手稲養護学校
（運営事務局）北海道真駒内養護学校 北海道拓北養護学校 北海道岩見沢高等養護学校
市立札幌豊成支援学校 市立札幌北翔支援学校

6 期日

令和4年8月26日（金） 1日間

7 開催形式

- ・開会式・基調講演・アトラクション・会員研修・全体講評・閉会式・・・Zoomウェビナーによる配信
- ・分科会・・・Zoomによる配信

8 日程

09:30	10:00	10:30	11:30	12:40	14:25	15:35	16:20	16:50
		11:20			14:10	15:25		
受付	開会式	基調講演	アトラクション・昼食	分科会	会員研修	全体講評	閉会式	

9:30～10:00 受付

10:00～10:30 開会式 [30分]

10:30～11:20 基調講演 [50分]

11:30～12:40 アトラクション・昼食 [70分]

12:40～14:10 分科会（Zoomにより6分科会を同時に実施。ブレイクアウトルームでワークショップを実施。）[90分]

14:25～15:25 会員研修 [60分]

15:35～16:20 全体講評 [45分]（講評20分ずつ2名）

16:20～16:50 閉会式 [30分]

9 参加者

全国肢体不自由特別支援学校PTA会長・会員
全国肢体不自由特別支援学校学校長及び教職員等

10 定員

480名

※定員になり次第申込を締め切ります。

※できる限り多くの学校に参加いただくため、申込後に各校の人数の調整をさせていただくことがありますので御了承ください。

11 分科会

(1) 研究協議題

分科会	担当ブロック
第一分科会 「学校」	<p>「子どもたちの学校教育を支え、社会自立を育むため、PTAは、学校との連携をどのように深めていくか」</p> <p>○特色あるPTA活動を進めるための学校との連携について ○子どもたちの教育環境の充実を図るためのPTA活動について ○センター的機能を活用し、学校間の連携を促すためのPTA活動について</p>
第二分科会 「地域」	<p>「子どもたちの将来にわたり安全で豊かな地域生活を支えるため、PTAは、地域との連携をどのように深めていくか」</p> <p>○子どもたちが地域社会で豊かな学校生活を送るためのPTA活動について ○居住地域や学校生活において交流等を推進するためのPTA活動について ○地域生活及び学校外活動を豊かにするためのPTA活動について</p>
第三分科会 「福祉」	<p>「子どもたちの現在、将来の自立生活を確保するために、PTAは、福祉機関との連携をどのように深めていくか」</p> <p>○療育支援センターや関係施設等と連携したPTA活動について ○豊かな生活を築くためのデイサービス等や福祉制度の活用について ○卒業後に向けた日中活動（通所・施設）と生活支援、介護サービス等の活用について</p>
第四分科会 「進路」	<p>「子どもたちの社会参加と自立の実現を目指し、ライフステージに合わせた支援をどのように行っていくか」</p> <p>○子どもたちのキャリア発達を促し、社会参加しながら自分らしく生きていくための力を育てる支援について ○関係諸機関と連携し、進路実現（進学・就労・その他）を図るためのPTA活動について ○個別の教育支援計画等、卒業後につながる支援ツールの活用について</p>
第五分科会 「医療」	<p>「子どもたちの健康・安全の保持を基本に、医療機関や従事者との連携をどのように深めていくか」</p> <p>○健康で安全、そして楽しい学校生活を維持するための健康管理や摂食指導について ○看護師や外部専門員、支援員を含めた医療的ケアの充実について ○医療機関や医療従事者との連携・協力を進めるためのPTA活動について</p>
第六分科会 「機器」	<p>「子どもたちの可能性を広げ、生活を豊かにする情報機器等の活用をどのように進めていくか」</p> <p>○コミュニケーション能力を高めるための効果的な機器の活用について ○機器を活用した自立支援（生活支援・就労支援・余暇支援）の充実について ○家庭における機器の活用と学校との連携について</p>

(2) 担当ブロック、担当校、指導助言者、運営担当校等

- ・各分科会の運営を北海道内の各肢体不自由特別支援学校が担当します。
- ・★は分科会運営担当総括校です。

分科会	担当ブロック	発表担当校	指導助言者	運営担当校
第一分科会 「学校」	近畿	奈良県立奈良養護学校	前札幌大学教授（元北海道真駒内養護学校長） 福井一之氏	北海道函館養護学校
第二分科会 「地域」	中国・四国	香川県立高松養護学校	独立行政法人国立特別支援教育総合研究所研修事業部長 吉川知夫氏	北海道網走養護学校
第三分科会 「福祉」	九州	熊本県立熊本かがやきの森支援学校	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室障害児支援専門官 鈴木久也氏	北海道白糠養護学校
第四分科会 「進路」	北海道・東北	福島県立郡山支援学校	厚生労働省職業安定局障害者雇用対策課地域就労支援室障害者雇用専門官 相田正孝氏	北海道岩見沢高等養護学校
第五分科会 「医療」	関東・甲越	千葉県立桜が丘特別支援学校	医療法人稲生会理事長 土島智幸氏	北海道真駒内養護学校★
第六分科会 「機器」	中部	石川県立いしかわ特別支援学校	重症心身障害児（者）施設北海道療育園ToolBox・リハビリテーション工学係係長 鈴木智裕氏	北海道旭川養護学校

(3) 定員

各80名

※定員に達した分科会から申込を締め切ります。定員に達した場合、HP上での希望する分科会の申し込みができなくなりますので、他の分科会を選択してください。

※一次案内で「申込時に希望する分科会を第二希望まで選択してください。」とお知らせしていましたが、全肢P連事務局と実行委員会で協議した結果、今年度第二希望は集約せず、定員に達した分科会から申込締め切りとすることとします。ご理解ご協力をお願いいたします。

(4) 発表について

- ・発表校は分科会の協議題に沿って発表内容を検討してください。
- ・発表校は運営担当校と当日の発表の方法や資料等について必ず打合せをしてください。

12 基調講演

(1) テーマ

「特別支援教育の動向と肢体不自由教育への期待」

(2) 講師

文部科学省初等中等教育局視学官（併）特別支援教育課特別支援教育調査官 菅野和彦氏

13 会員研修

(1) テーマ

「みんなが笑顔で暮らせる街づくりに向けて」（仮）

(2) 講師

車いす紅蓮隊 五十嵐真幸氏

14 大会負担金及び大会参加費

(1) 学校単位PTA大会負担金

- ・ 一校につき 5,000円
- ・ 大会参加の有無にかかわらず、全ての学校の納入をお願いします。

(2) 大会参加費

一人につき 2,000円

(3) 納入方法

- ・ 「15 参加申込について」に示された専用サイト（名鉄観光サービス(株)）にログインし、必要事項を入力・送信していただくことにより請求書が送付されます。
- ・ 送付された請求書に従い、大会負担金及び大会参加費の納入をお願いします。
- ・ 大会への参加を希望しない学校においても必ず専用サイトにログインし、入力及び送信をお願いします。

15 参加申込について

受付期間 令和4年5月16日（月）～令和4年6月3日（金）

- ・ 各学校で取りまとめていただき、全肢P連ホームページ <http://zspi.jp/> から専用サイト（名鉄観光サービス(株)）にログインして、お申し込みください。
- ・ 分科会は先着順で締め切りますので、希望する分科会が締め切られた場合、他の分科会を選択してください。
- ・ 参加申込の漏れ及び申込期限切れを防止するため、参加の可否に関わらず必ず申込フォームへの入力を行うようお願いします。

16 その他

- ・ 参加者などの取りまとめなどの業務は、「名鉄観光サービス(株)札幌支店」へ業務委託しております。

<北海道大会に関するお問い合わせ先>

運営事務局 「北海道大会」実行委員会事務局
北海道手稲養護学校 教頭（事務局長） 吉岡 奈穂子

住 所: 北海道札幌市手稲区稲穂3条7丁目6番1号

電 話: 011-682-1722

F A X : 011-682-1926

e-mail : teineyougo-z4@hokkaido-c.ed.jp

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会の活動等については、ホームページURL：
<https://zspi.jp/>をご覧ください。